



### 押絵羽子板

齋藤はる子さん(久米在住)

### 所沢の技 その九 ～わか街の匠たち～

押絵羽子板づくりは、押絵を作る「押絵師」、押絵の面相を描く「面相師」、  
「羽子板を調整する職人」とそれぞれ分業で行われますが、齋藤さんは、面相師以外の仕事は1人で仕上げます。

# 広報 ところざわ

No.953 平成15年(2003年) 1.5

新春のごあいさつ



所沢市長

齋藤 博

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。  
皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は市政進展のため、各般にわたりご理解・ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

今日、市民生活を取り巻く環境が変化し、行政も大きな変革期を迎えております。こうした時代の潮流に的確に対応し、本市のもつ特色をいかしながら、誰もが住み続けたい魅力あふれるまちづくりに努めております。

市といたしましては、特例市への移行、市役所組織の大幅な改革等を行い、市民サービスの向上・充実に努めるとともに、厳しい財政状況のなか、財政の効率的な運用を図り多種多様化する市民要望に応えるため、「成果重視」の観点から事務事業評価を実施しました。また、本年4月から資源循環型社会の拠点施設となります東部クリーンセンターが本格的に稼働いたします。

まちづくりの主役は市民の皆様です。「みんなでつくる」という協働意識のもと、33万市民の皆様とともに、本年もさまざまな課題に積極的に取り組み、「ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市」所沢の創造に全力を傾注してまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。